

情報アクセシビリティ好事例 2026

事業概要

総務省では、アクセシブルなICT機器・サービスの普及促進を目的として、情報アクセシビリティに優れているICT機器・サービスを「情報アクセシビリティ好事例2026」として募集しています。好事例に選定されますと、総務省報道発表のほか、SNS、広報誌での周知等、製品のPR機会が多くあります。多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

募集期間

令和8年
9月14日(月) → 11月13日(金) 17時まで



総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

対象機器・サービス

次の(1)～(5)をいずれも満たしているICT 機器・サービスを対象とする。

- (1) 情報アクセシビリティ※に配慮した ICT 機器・サービスであること。
※情報アクセシビリティとは、年齢や障害の有無に関わらず、誰でも情報の取得及び利用並びに意思疎通ができることをいいます。募集対象とするのは、①一般向け、②障害者又はその支援者向け、③高齢者又はその支援者向けのICT機器・サービスであって、情報アクセシビリティに配慮したものとします。
- (2) (1)の「ICT機器・サービス」は、以下のいずれかに該当する、自社が自社製品として開発・製造・販売しているICT機器・サービスであること(他社から提供された技術、部品、ソフトウェア等を組み込んだ上で、自社の最終製品としている場合についても、応募対象とする)。
 - (ア) パーソナルコンピューター(JIS X 8341-2 対象製品)
 - (イ) ウェブコンテンツ・アプリケーション(JIS X 8341-3/WCAG 2.1対象製品)
 - (ウ) 電気通信機器(JIS X 8341-4 対象製品※)
 - (エ) 事務機器(JIS X 8341-5 対象製品)
 - (オ) 対話ソフトウェア(JIS X 8341-6 対象製品)

※ 電気通信機器とは、「電気通信に関する設備の中において、電気通信サービスの利用者が直接操作する機器」を指す。
なお、従来の電気通信機器に当てはまらない新しい概念の製品及び製品群についても、従来の電気通信機器に含まれる機能等を有する場合は(ウ)に該当する。
- (3) 応募時点において企業や消費者向けに販売・提供等されている ICT 機器・サービスであること。なお、既に実装されている機能のみを対象とするため、現在開発中の機能等については評価には含めないものとする。
- (4) 応募は1社につき1製品までとする。
- (5) 過去に情報アクセシビリティ好事例として選定されたものは、原則として応募対象外とする。

応募方法

応募資料

情報アクセシビリティ自己評価様式、「情報アクセシビリティ好事例2026」応募資料

応募方法

- ① 下記URLまたはQRコードにアクセスし、募集実施要領と応募書式をダウンロード、
- ② 募集実施要領を確認した上で、応募書式を記入し、事務局に送付

※ なお、応募にあたっては、「情報アクセシビリティ推進に向けた企業向けセミナー」(基礎編・実践編)の受講(アーカイブ視聴)が要件となります。下記URL(ないし右記QRコード)にアクセスの上、ご視聴下さい。



URL

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000487.html

主催

総務省 情報流通行政局 参事官室

運営

株式会社野村総合研究所

問合せ先

✉ accessibility_koujirei2026@nri.co.jp

令和6,7年度「情報アクセシビリティ好事例 2024/2025」選定製品一覧

総務省では、

- ①国民全般に広くアクセシビリティに配慮した製品を知っていただくこと
 - ②情報アクセシビリティに特に配慮している企業等やその取組を奨励すること
- を主な目的として、令和5年度からの新たな取組として情報アクセシビリティ好事例を募集し、審査の結果、計33件の製品・サービスを「情報アクセシビリティ好事例 2024/2025」として公表しました。



<開催概要>

募集期間

<情報アクセシビリティ好事例2024>
令和6年9月4日(水)から令和6年11月8日(金)

<情報アクセシビリティ好事例2025>
令和7年9月12日(金)から令和7年11月14日(金)

審査項目

- (1)情報アクセシビリティに配慮したICT機器・サービスであるか。
- (2)当該ICT機器等の開発にあたって、高齢者・障害等当事者、支援者等の状況を理解している専門家の意見を踏まえているか。
- (3)企業として、情報アクセシビリティに取り組むための対応がとられているか。

▼2024



▼2025



詳細は「情報アクセシビリティ好事例2024」、「情報アクセシビリティ好事例2025」で検索！

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000172.html
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000185.html

2024 年度選定製品

グラファー

製品名	Graffer スマート申請
製品概要	あらゆる行政手続きをいつでもオンラインで行うことが可能なサービス

東芝テック

製品名	e-BRIDGE Plus for Voice Guidance
製品概要	視覚に頼らずにコピー操作ができる機能を備えた複合機

フリー

製品名	freee支出管理 小口現金
製品概要	小口現金出納帳をデジタルで一元管理し、リアルタイムで確認することを可能にするサービス

フリー

製品名	freee人事労務:アプリで勤怠入力・給与明細閲覧
製品概要	従業員が、日々の打刻や勤怠入力、給与明細の確認等の日常的な作業を手元で簡単に操作することができるスマートフォンアプリ

フリー

製品名	freee人事労務 健康管理
製品概要	従業員が、ストレスチェックを受ける際、手元で簡単に操作することができ、受診等の進捗管理をデジタルで一元管理し、リアルタイムで確認することができるスマートフォンアプリ

プロメトリック

製品名	試験配信ソリューションのウェブサイト
製品概要	コンピュータによる試験実施(CBT/IBT)および関連するソリューションを提供している試験配信・評価ソリューションのプロバイダーの受験者・試験主催者団体向けウェブサイト

弁護士ドットコム

製品名	クラウドサイン
製品概要	契約書をアップロードし、相手方が承認するだけで契約を結ぶことができるクラウド型の電子契約サービス

リモートアシスト

製品名	視覚障害者Android端末「エルビーフォン」
製品概要	目の見えづらい方にお使いただけよう様々な工夫が施されたスマートフォン。専門相談員がお客様のご希望をお伺いしてお一人づつカスタマイズする

Dynabook

製品名	アクセシビリティ向上ソフトウェア「せつていのとびら」
製品概要	教育の現場で児童・生徒の、一人ひとりの特性に合わせた設定変更が可能なアクセシビリティ向上ソフトウェア

Helpfeel

製品名	Helpfeel
製品概要	クラウドで提供する検索性に優れたFAQシステム

KDDI

製品名	au Ponta ポータル
製品概要	Pontaパスやau PAY、au PAYカードなどの各種サービスの利用に応じてためる、つかうことができるPontaポイントに関する情報をご案内するWebサイト

KDDI

製品名	auビジュアルガイド
製品概要	スマートグラスを用いた映像による解説サービス

Nuevos Sistemas Tecnologicos S.L. dba NaviLens

製品名	NaviLens GO (ナビレンスGO)
製品概要	ナビレンスコードを読み取り、視覚的かつ直接的な情報確認を可能にするアプリ

QDLレーザ

製品名	網膜投影視覚支援機器 RETISSA ON HAND
製品概要	網膜投影技術を手軽に利用できる手持ち型の視覚支援機器

SmartHR

製品名	スキル管理システム
製品概要	従業員のスキルやそれを裏づける資格の情報を管理するシステム

Uni-Voice事業企画

製品名	耳で聴くハザードマップ
製品概要	視覚障害者がハザードマップの内容を理解できるよう、地図面の情報を音声で提供するサービス

アイ・オー・データ機器

製品名	Memet
製品概要	主に高齢者が、遠隔地に住む家族とテレビ電話ができるコミュニケーション支援機器

アルカディア

製品名	ボイスエイド2
製品概要	ALSや脳卒中の後遺症などで発語が困難な方向けの、携帯用会話補助装置

位置情報サービス研究機構

製品名	時刻表カウントダウンアプリ「駅.Locky」
製品概要	駅における次の電車の発車時刻までの残り時間を、大きな文字とシンプルなインターフェースで表示する時刻表アプリ

イル

製品名	みまもり イル！
製品概要	インソール型のGPSトラッカーで、高齢者のみまもり、行動分析、活動量測定、徘徊時の搜索効率化ができるサービス

ウィーログ

製品名	WheelLog!
製品概要	ユーザー投稿型のバリアフリーマップアプリで、車いすで走行可能なルートやバリアフリー設備の情報を共有できるプラットフォーム

コンピュータサイエンス研究所

製品名	視覚障がい者歩行支援アプリ EyeNavi
製品概要	スマートフォンのカメラ映像をAIが解析し、交差点の信号状態や進行方向、障害物など周囲環境を音声で案内する歩行支援アプリ

ソノヴァ・ジャパン

製品名	デジタルワイヤレス補聴援助システム「ロジャー タッチスクリーンマイク 3」
製品概要	タッチスクリーンによってどのマイクの音声を届けるか容易に切り替えることができるワイヤレスマイクシステム

合同会社ファービヨンド

製品名	トイレ情報共有マップくん
製品概要	トイレの場所や設備情報をユーザー同士で共有・検索できるスマートフォンアプリ

フォーバル

製品名	きづなパートナー
製品概要	高齢者に貸与したタブレットを遠隔操作し、オペレーターが管理システムより遠隔操作及び、ビデオ通話を通して生活支援をするサービス

ユニティ

製品名	あそんでまなぶ！for スクール
製品概要	知育アプリ「あそんでまなぶ！」シリーズを教育機関向けに提供するサービス

よむべえ

製品名	文字認識音声拡大読書器 快速よむべえ
製品概要	カメラで印刷物を読み取り、文字と音声で読み上げ、画面で大きく表示する音声と拡大表示両用の読書器

GMOグローバルサイン・ホールディングス

製品名	電子印鑑GMOサイン
製品概要	電子文書(PDF)を契約当事者双方で確認し、ボタンをクリックするだけで契約を締結できる電子契約サービス

Hubbit

製品名	話せる伝言板「ケアビー」
製品概要	主に高齢者が、遠隔地に住む家族とテレビ電話ができるコミュニケーション支援機器

KDDI

製品名	My auアプリ/My UQ mobileアプリ
製品概要	特定の携帯電話会社を利用する際に、契約内容の確認や手続きを行うためのスマートフォンアプリ

SmartHR

製品名	SmartHR 勤怠管理機能
製品概要	クラウド人事労務ソフト「SmartHR」における、見やすさ・視認性に配慮した勤怠管理機能

TDI

製品名	D-HELO
製品概要	災害発生時に、個人のスマートフォン・スマートウォッチへ振動と画面表示で緊急情報を配信するシステム

Uni-Voice事業企画

製品名	耳で聴くWebサイト
製品概要	既存のWebサイトやドキュメントを「耳で聴いてわかる」ように、音声読み上げ形式のWebサイトとして提供するサービス

審査委員の総評より一部抜粋

昨年度に続き、好事例を公表することは、情報アクセシビリティに配慮したICT製品・サービスやそれに関わる企業等の前向きな取組を広く周知することとなり、障害当事者を含む多様な者がデジタル活用の利便性を享受し、豊かな人生を送ることができる社会の実現に資するものと考えられる。

今後も、企業等における情報アクセシビリティへの取組の広がりを大いに期待したい。